

2 フェイスシート

日常生活のこと

記入日:平成29年12月25日 学年 3年 年齢 9歳

動 作						場所・補助具・介助状況など						
床 上	寝返り	自立	何かにつかまれば可	できない		電動ベット	有 ・ 無	エアーマットの使用	有 ・ 無			
	起き上がり	自立	何かにつかまれば可	できない								
	座位保持	自立	自分で支えれば可・支えが必要	できない								
	立位保持	自立	支えが必要	できない								
	移乗	自立	見守り・一部介助	できない								
移 動	屋内	自立	見守り	一部介助	全介助	補装具の使用 (杖・短下肢装具・歩行器・車椅子・そのほか・無)						
	屋外	自立	見守り	一部介助	全介助	犬や猫が大好きで目に入ると急に走り出してしまい、車の通りでは注意が必要。						
入 浴	浴槽出入り	自立	見守り	一部介助	全介助	留意点						
	洗体	自立	見守り	一部介助	全介助	基本的には一人でできるが、洗い残しがあるので最後は母が確認をしている。						
	洗髪	自立	見守り	一部介助	全介助	遊びやTV等を見ているときに、切り替えができず入浴するまでに時間がかかることがある。						
	方法	一般浴槽	機械浴槽	リフター	シャワー	清拭	他					
	頻度	毎日	他	月・火・水・木・金・土・日								
排 泄	排尿	自立	見守り	一部介助	全介助	回数:	1日	回	尿意:	有・時々・無	伝達:	可・不可
	排便	自立	見守り	一部介助	全介助	回数:	日に1回	回	便意:	有・時々・無	伝達:	可・不可
	方法	便所	ポータブルトイレ	尿器	オムツ	バルーンカテーテル	ストマ	時間誘導	不要	要	時間	
	具体方法											
	生理	自立	見守り	一部介助	全介助							
食 事	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助	食事回数	3	回	食欲	旺盛・普通・無		
	飲水	自立	見守り	一部介助	全介助	アレルギー	無	有 (				
	嚥下	自立	見守り			服薬	薬の飲ませ方					
	食事形態	普通	一口大	粗刻み	極刻み	ミキサー	注入	その他医療ケア	※吸引や注入などがあれば記載			
	食事内容	常食	特別食 (									
	使用器具	箸	フォーク	スプーン	手づかみ	補助具	有・無	※記入しきれない場合は〈MEMO〉を使って記入するか、添付で資料をつけてください。				
清 潔	口腔清潔	自立	見守り	一部介助	全介助	声かけをしないと歯磨きや顔洗いはしないことがあるので、学校へ行くまでには必ず声かけをしている。						
	洗顔	自立	見守り	一部介助	全介助	爪は母が切っている。						
	整髪	自立	見守り	一部介助	全介助							
	爪きり	自立	見守り	一部介助	全介助							
着 脱	上着	自立	見守り	一部介助	全介助	模様がなくてトレーナーやカットソーは後ろ前が逆になってしまいがちなので母が確認している。						
	スボン等	自立	見守り	一部介助	全介助	スボンのボタンが固いものは難しい。						
日 常 生 活	洗濯	自立	一部介助	全介助	掃除洗濯はやらせていない 時々洗濯物をたたむことは手伝わせている							
	掃除	自立	一部介助	全介助								
	整理整頓	自立	一部介助	全介助	身の回りの整理整頓(出したら元の場所に戻す、次の行動に移る前に片づけをする)は練習中。							
	電話の利用	自立	一部介助	全介助	かかってきた電話にできることはできる							
	買い物	自立	一部介助	全介助	一人で買い物に行くことはない							
	調理	自立	一部介助	全介助								
	金銭管理	自立	一部介助	全介助	概念はわかっていないが、10円、100円、500円、1000円の見分けはつく							

2 フェイスシート

記入日：平成29年12月25日 学年 3年 年齢 9歳

趣味 好きな こと	• 体をつかった遊び（運動） 縄跳びやおにごっこ • テレビでアニメをみること お子さんを知って もらううえで必要 な情報を記入 しておきましょう		
性格	• 基本的には穏やかでにこにこ過ごすことができる お友達とも楽しく過ごすことができる • 自分の中でのルールがあり、それを守ろうと頑固なところがある • 間違ったことをする子を許せないところがある		
得意な こと	• 指先をつかった細かい作業が得意 • 数字を暗記すること		
苦手な こと	• 相手の気持ちを考えることが苦手 • 場面の切り替えが苦手で「ギャーッ」となることがある 事前の予告が必要		
コミュニ ケー ション 手段	本人から相手に伝えるとき		
	☒ ことば （ある程度の文書で話せる）	具体的なやりとり例	
	☐ ことば （単語）		
	☐ ジェスチャー 手話 など		
	☐ 写真／絵カード／文字盤 など		
	相手（支援者）が本人に伝えるとき		
	☒ ことば （ある程度の文書で話せる）	具体的なやりとり例	
	☐ ことば （単語）	部分的に写真や絵カードを使うことがある	
	☐ ジェスチャー 手話 など		
	☒ 写真／絵カード／文字盤 など		
	友達とのやりとり・関わり方		
	※特徴がある場合は記載しておく役立ちます。		

配慮事項	
身体面 医療面	■特になし ☐ てんかんの有無 有 ・ 無 （有の場合は対応の方法など配慮事項を記入） ☐ 発作の有無 有 ・ 無 （有の場合は対応の方法など配慮事項を記入）
	☐ 特になし
	混乱・かんしゃく・パニックの原因になりやすいこと ・急な予定変更や自分が思っていたことと違うことが苦手 予告があっても理解するまでに時間がかかることがある
行動面	表現・行動（どのような傾向があるか）
	対処方法 ※支援者は日頃どのように対処しているかがわかると助かります。
	クールダウンできる環境があると落ち着いて話ができます
	予防の方法
	早めの予告や視覚が見てわかるような情報があると飲み込みがはやいです



Q. 子どもの発達に不安があるときはどこに相談すればいいですか？

A. 青葉区福祉保健センターの専門職（保健師や保育士等）や地域療育センターあおばなどで相談することができます。詳しくは資料1を御覧ください。

Q. 障害のある子どもが放課後に安心して過ごせる場所がありますか？

A. 小学生以上であれば、放課後等デイサービスという児童福祉法に基づく制度を利用することができます。詳しくは資料2を御覧ください。